

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（26）（24）」

2. 日時：令和5年9月22日（金） 10時00分～12時15分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他9名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

＜＜本年9月20日に受取済み＞＞

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子炉規制庁地震津波審査部門のスズキですそれでは、から見解仙台。
0:00:08	長期評価ですね影響についてということ。
0:00:11	ヒアリングを始めたいと思い
0:00:15	会の方、
0:00:18	それぞれ本日、
0:00:20	こちらは、
0:00:21	資料は、
0:00:32	はい。
0:00:33	九州電力の村上です。本日はよろしく申し上げます。
0:00:38	前回のヒアリングでは、今回の地震本部の評価を踏まえ
0:00:44	てどう対応するのか。
0:00:45	既許可における活断層評価をわからない。
0:00:49	と異なる評価を採用するのであれば、根拠を示した上で、詳細は、
0:00:54	行う必要があると、いうふうな点についてご指摘をいただいて、
0:00:58	認識をしてございます。
0:00:59	本資料では、そうした観点から記載を、
0:01:02	見直しでございまして、本日は、前回ヒアリングからの変更点を中心に説明をさせていただきます。
0:01:10	2 ページをお願いします。
0:01:13	今回、長期評価を踏まえた当社の活断層評価につきまして、荒田
0:01:18	藤
0:01:21	自分の活断層評価
0:01:26	をすること。
0:01:26	しましたので、
0:01:28	場所を行ってございます。各社の詳細は後程説明いたしますが、本社の部分では、
0:01:35	4 ポツ、ポツを追記追加し、また、参考 2 として、警護断層体と実機北東部の断層群の連動に関する資料を追加してございます。
0:01:46	3 ページをお願いします。
0:01:49	まず、地震本部の概要についてです。4 ページをお願いします。
0:01:54	こちら、これまでのヒアリングでもお示してございますが、地震本部の概要について、藤谷 3 点、追加してございます。また、活断層名がわかるように追記を、こちらも行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:07	5 ページをお願いします。
0:02:10	こちらこれまでのヒアリングにてお示してございますが、表下段に活断層の認定年代に関する記載をつい
0:02:17	てございます。
0:02:19	6 ページをお願いします
0:02:22	のヒアリングでもお示しているものですが、ページ上部に、図、
0:02:27	追加してください。
0:02:30	変更ございません。
0:02:35	こちら図面は、これまでのヒアリングでも、
0:02:38	になります、
0:02:49	後程詳細についても、
0:02:54	10 ページをお願いし、
0:02:56	こちら、
0:03:06	こちらの
0:03:07	影響確認フローにつきましては、同じ、これまでのヒアリング等同様の流れでございますが、右側に、
0:03:15	示す、
0:03:16	確認方法のうち、
0:03:18	2-2 につきまして、江田
0:03:20	純香
0:03:23	冒頭申し上げましたが、一部の断層評価については、地震
0:03:27	本部の評価を取り入れることとしてございますので、本
0:03:31	としては、④に行く流れとしての矢印を追加しております。
0:03:36	12 ページ
0:03:37	ございます。
0:03:38	14 ページをお願いします。
0:03:42	こちら長期評価に対する
0:03:44	確認のうち、活断層評価ね。
0:03:47	ご説明いたします。
0:03:50	をお願いし、
0:03:52	15 ページから、
0:03:57	アベの検討結果を整理
0:03:58	しており、
0:04:00	検討の流れ及び
0:04:02	評価が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:03	麻生。
0:04:07	ヒガシ水道断層及び
0:04:10	ゴトウ田井断層体の3断層を抽出するという
0:04:14	ところがございま
0:04:16	主な変更点としましては、16ページ。
0:04:20	シバシバアオキ断層体をスクリーニングアウトする根拠として、西山断層体を明記していること。
0:04:26	17ページ18ページにおいて、結構断層体及び石山断層体
0:04:32	長期評価上の扱いを追記しております。
0:04:37	19ページをお願いします。
0:04:41	こちら、前回ヒアリングでのご指摘を参考に追加した
0:04:49	下三つの断層。
0:04:54	どういう
0:04:58	をしており、
0:04:59	本線としてはまず、地震本部の評価、
0:05:03	だろう。
0:05:06	おります。
0:05:07	次に、既許可評価における地震本部との差異について、既許可時のデータ等を示した上で、結局評価の内容を整理しております。
0:05:16	その後、地震本部の評価を踏まえた、既許可への影響といった形で整理しております。
0:05:24	20ページをお願いします。
0:05:27	詳細の確認が必要な3断層のうち、
0:05:30	黒野シマ金海断層体についてです。
0:05:34	21ページ。
0:05:35	お願いします。
0:05:37	こちらには、地震本部による評価と、結局評価の概要を示してございます。
0:05:43	地震法務と評価評価では、断層認定の範囲は同じであるものの、断層トレース及び断層区分に差異が認められるため、
0:05:53	それぞれの評価内容を整理し、既許可評価への影響について確認をしてございます。
0:06:00	22ページをお願いします。
0:06:03	本部の概要を示しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:06	詳細につきましては、次ページ以降にて、断層認定の根拠、警護断層タイプの関連性
0:06:12	ご説明をいたします。
0:06:18	こちらは、
0:06:19	今回ヒアリング、
0:06:22	地震本部と、他の文献断層との比較を示しております。
0:06:26	この三つを見ると、地震本部による茂呂島近海断層体の断層評価は、岡村ほか 2014 による断層トレースと、
0:06:37	ほぼ同じであるということが確認いただけるかと思えます。
0:06:43	24、
0:06:44	お願いします。
0:06:46	23 ページで、地震本部は、小村他のトレースとほぼ同様のトレースであるというふうに申し上げましたが、こちらには、その岡村ほか 2014。
0:06:57	概要を示しております。
0:07:00	岡村ほかでは、地質調査所の音波探査記録が用いられており、地層の変形が
0:07:07	断層
0:07:09	麻生とした。
0:07:13	25 ページをお願いします。
0:07:16	次に、オノシマ金海断層体のうち、当方機関の評価についてご説明。
0:07:22	今回の長期評価では、オノシマ金海断層体東方沖区間のランダムは、
0:07:28	海上保安庁等が示す断層ダイトウ一致するというふうにされており、
0:07:34	また 5 断層隊の長期評価、地震本部です。
0:07:38	こちらでは、5 断層体北西部は
0:07:42	福岡県西方沖地震の余震分布域を基に評価をされておまして、
0:07:47	本庁が示す、
0:07:49	肥後断層だ北西部の北東部に分布する断層体。
0:07:53	つきましては、マツダの起震断層の定義に基づき、警護断層対北西部と 5 キロ以上の離隔があるということで、ほぼ断層体とは別の起震断層体として評価をされております。
0:08:07	従いまして、今回の長期評価における当該連断層評価としては、地震本部を踏襲しているものというふうに考えてございます。
0:08:16	26 ページ
0:08:18	をお願いします。
0:08:20	こちらに地震本部による評価のまとめを記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:24	オノシバ金海断層体は、戸村ほか 2 系列断層と
0:08:29	ほぼ同じであり、
0:08:31	地質調査所の音波探査記録を用いて、
0:08:34	筒の変形が海底に差している断層を第 4 紀断層とされています。
0:08:39	従いまして、福士本部では、岡村保健他における断層トレースを参考に した上で、地質調査所の音波探査記録をもとに評価していると、いうふう に考えてございます。
0:08:52	この評価範囲周辺におきましては、既許可以降、
0:08:55	他機関も含め、新たな音波探査記録はございません。次に、地震本
0:09:01	地震本部で、
0:09:03	2000
0:09:04	5 断層体とは異なる断層と評価された断層に、
0:09:11	大田への東方期間の南端分と、
0:09:14	一致するというふうにされており、
0:09:16	したがいまして、オノシバ金海断層体と大きく管の南東部は、5 断層体と は別の断層として、評価されていると考えられ、今回の地震本部では、
0:09:27	新本部 2007 の評価を踏襲しているというふうに考えてございます。
0:09:34	7 ページをお願いします。
0:09:36	ここから、既許可評価における評価内容についてご説明をいたします。
0:09:41	評価評価では、オノシマ金海断層体とほぼ同じ位置に、域北東部の断 層及び警護断層大の一部を認定しております。
0:09:51	断層の認定に当たりましては、地震本部 2007、岡村ほか、これらの文 献を踏まえた上で、地震本部が使用した実質相殺の音波探査記録に加え、
0:10:03	他機関及び当社独自の音波探査記録をもとに評価をしてございます。
0:10:09	7 ページ以降では、新ホンダ債がある過疎、
0:10:13	図中に示す①から③。
0:10:16	評価評価の内容を整理。
0:10:18	詳細についてご説明をいたします。
0:10:21	なお、断層の認定範囲は、ほぼ同じであることから、本海域における断 層の認定基準認定年代、
0:10:30	評価の際の要因と、
0:10:32	そして、
0:10:34	28 ページ
0:10:37	こちらに、地震法務と既許可評価における差異を示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:43	大きく①から③の 3 点に差異があると考えております。
0:10:49	まず 1 点目の断層トレース
0:10:52	2 点目の断層クボ
0:10:54	とか、
0:10:54	地震本部では、事実の通り、
0:10:57	地質調査所のポンプ段差記録をもとに断層認定し、
0:11:01	27 ページ。
0:11:04	範囲を一連の断層タイプ
0:11:07	しております。
0:11:08	一方、許可評価では、
0:11:10	地震本部が使用した地質調査所の記録に加え、
0:11:14	他機関及び当社独自の
0:11:17	音波探査記録を用いて、より密な測線間隔で断層を認定しております。
0:11:23	また、提出断層の位置や性状を精度よく把握し、本海域の断層をトレースしております。
0:11:32	断層区分につきましては、高分解能な当社独自の音波探査記録等を用いた詳細な分析を行い、
0:11:39	表中に示す三つの理由により、域北東部の断層と警固断層とは別の断層大として評価をしております。
0:11:49	これらを、
0:11:50	につきましては、
0:11:52	詳細をご説明いたします。
0:11:55	目の 5 断層体との関係で、
0:11:59	マツダの定義に基づき、コガの相対北西部と、
0:12:02	5 キロ以上の離隔がある。
0:12:05	5 断層体とは、面断層体と評価した。
0:12:10	地震本部を踏襲していると考えられます。
0:12:14	評価では、地震本部 2007 の評価を把握した上で、警固断層、
0:12:21	クボ断層体南東部陸域や、福岡県西方沖地震の余震分布域との関係について、詳細な分析を行い、
0:12:30	表中に示す二つの理由により、クボ断層体と評価をしております。
0:12:35	これらの理由につきましても、10 ページ以降にて詳細をご説明いたします。
0:12:40	30 ページをお願いします。
0:12:44	こちらには、結局評価で使用したデータについて記載をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:49	図面中の下線で囲んだ範囲が、支援本部でいう茂呂の島金海断層体の認定エリアになりますが、
0:12:57	評価では、ツチヤ本部が使用した記録、地質調査所の記録に加え、
0:13:03	及び、
0:13:05	青色、緑色で示す当社独自の音波探査記録を用いて、より密な測線間隔で断層を認定しております。
0:13:14	31 ページをお願いします。
0:13:17	まず、池北東部断層群と警固断層体の地質構造についてご説明をいたします。
0:13:24	こちらからは、既許可評価におけるタシロ抜粋。
0:13:29	医局東部の断層群につきましては、5 断層、
0:13:33	専属に位置しており、
0:13:38	認められ
0:13:39	層厚や、こっちの方向が一定せず、Lイセ
0:13:43	及び連続性に乏しいというふうに評価をしております。
0:13:48	32 ページをお願いし、
0:13:51	一方、5 断層体北西部についてですが、肥後断層体北西部では、横ずれに特徴的なフラワー構造が認められ、その北西部では、断層端部に特徴的なスプレー状の構造が認められると、いうふうに評価をしております。
0:14:10	33 ページをお願いします。
0:14:12	次に、北東部の断層群と警護断層体北西部の連続性に関する説明です。
0:14:20	は、駅北東部の断層群とA5 断層体北西部は連続しない異なる断層であると。
0:14:26	評価をしておりますが、その根拠を 33、
0:14:30	5 ページに示しており、
0:14:33	山田さん。
0:14:33	ページにつきましては、34 ページとあわせてご確認いただければと思いますが、事実の通り、
0:14:41	両断層系は異なる断層構造を有すると。
0:14:44	評価をしております。
0:14:46	また、警護断層THAI北西部の北西側では、断層端部に特徴的なスプレー状の構造が認められ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:54	北東部の断層群と警固断層体の境界付近には、断層は認められません。
0:15:01	なお、仁木北東部の断層群と警固断層体の境界付近における断層評価については、記載の通り評価をさせていただきます。
0:15:10	35 ページをお願いします。
0:15:14	こちらにも北東部の断層群と肥後断層体の連続性に関する説明として、
0:15:20	B層基底面の深度分布を示してございます。
0:15:24	檀総代北西部では、断層材に、
0:15:31	へこんでいるところが見られますが、
0:15:34	地域北東部の断層群では、顕著な傾向は確認ができ
0:15:39	北東部の断層群と警固断層北西部の境界付近は、概ね平たん面を
0:15:46	形成しており、
0:15:47	断層に伴う変状が認められないと評価をさせていただきます。
0:15:52	36 ページをお願いします。
0:15:56	次に、ヤマダの相対
0:15:58	北西部に分布する断層と、
0:16:00	結構断層体、陸域との関係に関する
0:16:04	評価評価では、肥後断層体北西部に分布する断層は、
0:16:09	肥後断層体南東部と、
0:16:11	連続する。
0:16:12	断層であると評価をしております。
0:16:15	音響、36 ページ。
0:16:21	ストーリー5 断層体北西部
0:16:24	と、
0:16:26	自分はいずれも1人
0:16:28	そうであり、
0:16:29	南西側リンク成分を伴っていること。
0:16:32	構造である
0:16:34	そうである。
0:16:35	から評価をさせていただきます。
0:16:37	37 ページをお願いします
0:16:40	こちらには、警護断層体北西部等、福岡県西方沖地震の余震分布域
0:16:47	を示し、
0:16:49	福岡県西方沖地震余震分布域の周辺では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:53	変位の累積性を有する断層が併走して認められること、余震分布域は、海上音波探査で確認
0:17:01	調和的であること。
0:17:03	こういったことから、
0:17:05	2005年の福岡県西方沖地震を発生させた鹿野断層と肥後断層対北西部する断層が、
0:17:13	まとまって一つの地震を起こす起震断層であるというふうに評価をしてございます。
0:17:19	39ページをお願いします。
0:17:21	こちらに評価評価のまとめを記載しております
0:17:25	40ページとあわせてご確認いただければと思いますが、
0:17:29	まずそれぞれの断層評価について、駅北東部の断層群は、全体的に断層の走向がいて、
0:17:38	忙しい断層。
0:17:39	と評価してる。
0:17:42	尾田総代北西部
0:17:44	は、左横ずれで、
0:17:47	ある断層が、
0:17:49	結構断層と、南東部、一期と一連の断層であり、
0:17:53	北西部では、断層端部に特徴的なスプレー状の構造が認められ、
0:17:58	評価をしており、
0:18:00	また、福岡県西方沖地震の余震分布域は、
0:18:03	結構断層体北西部において、
0:18:06	また、
0:18:06	される断層群と、調和的であることから、
0:18:10	福岡県西方沖地震を発生させた
0:18:13	鹿野断層とまとまって一つの地震を起こす起震断層であるというふうに評価をしております。
0:18:21	両断層群の連続性については、前述の通り、地質構造が異なること、また、5断層と北西部
0:18:28	北川では、
0:18:30	断層端部に特徴的な構造が認められること。
0:18:34	さらに、北西延長部では、B層の基底面がほぼ水平な経ためをなし。
0:18:40	断層に伴う変状が認められ、
0:18:44	異なる断層として評価をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:49	41 ページをお願いします。
0:18:54	こちらには、これまで整理した地震本部及び許可評価の内容を踏まえた、機構、
0:19:03	42
0:19:06	いただければと思いますが、
0:19:08	これまでの説明の通り、
0:19:11	評価の際について、大きく3点を取り上げましたが、
0:19:15	既許可評価では、地震本部が引用した知見データに、
0:19:20	高分解能な当社独自の音波探査記録等を加え、
0:19:24	より多くの情報をもとに、
0:19:27	記載の通りの詳細な分析を行っております。
0:19:33	断層トレース断層体の区分につきましては、先ほども申しあげました通り、
0:19:40	地震本部が、地質調査所の記録をもとにトレースしているのに対し、既許可では、
0:19:46	地質調査所の記録に加え、
0:19:48	滝川及び当社独自の記録を用いて、より密な間隔で江田層認定して、
0:19:55	また、
0:19:56	断層性状や連続性についても、
0:20:00	当社独自の音波探査記録等を用いて区分を行って、
0:20:05	北東から断層群と、断層体の連続性につきましても、山、地質構造の、
0:20:11	違いは、
0:20:14	結局、
0:20:15	5断層と北西部北川に見られる、断層端部に特徴的な構造と早期底面の
0:20:23	等から連続しないと評価をしております。
0:20:27	警護断層体制の関係につきましては
0:20:30	地震本部が、マツダの木津断層の定義に基づき、
0:20:34	ヤマダの総代北西部と5キロ以上の離隔があることから、警護断層体とは別の断層体と。
0:20:42	増加している。
0:20:44	既許可評価では、
0:20:46	クボ断層体北西部
0:20:50	の評価を把握した上で、
0:20:53	瀬古断層体南東部や、余震分布域との関係を分析

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:57	オダ総体として、
0:21:02	詳細な分析に加え、許可以降に公表された。
0:21:07	荒田
0:21:12	では、結局、評価の見直しは不要というふうに判断をさせていただきます。
0:21:18	次に 43 ページをお願いします。
0:21:21	ここからとしてはヒガシ水道断層についてご説明をいた
0:21:25	44
0:21:26	をお願いします。
0:21:28	こちらには、支援本部による評価と評価評価の概要を示しております。
0:21:33	卵巢の、
0:21:35	認定の位置はほぼ同じであるものの、断層の長さに差異が認められるため、それぞれの評価内容を整理、
0:21:43	崩壊の影響、
0:21:44	確認をしております、
0:21:46	45 ページをお願いします。倉地支援本部の評価の概要になります。
0:21:51	詳細については、次のページでご説明いたします。
0:21:55	46 ページをお願いします。
0:21:58	こちらは、支援本部による断層評価について整理をしております。断層トレースと地質調査所による音波探査測線との位置関係から、
0:22:09	地震本部の評価では、北部については、
0:22:12	AGSNo. 6、
0:22:14	麻生認定しており、リリースナンバー7で断層認定していない。
0:22:19	選んランプにつきましては、新ユフNo. 3D断層認定しており、
0:22:24	ビジネスナンバー2で断層をしていないというふうに、
0:22:27	あります。
0:22:30	日本海地震
0:22:31	調査プロジェクトでは、当該断層の中央付近において、
0:22:38	当該調査の
0:22:40	影響
0:22:41	ちようどご説明をいたします。
0:22:44	47 ページをお願いします。
0:22:46	ここから、既許可評価における評価内容についてご説明いたします。
0:22:52	評価評価では、津島ヒガシ杉野断層とほぼ同じ位置に、小路の水原東方沖断層元を認定しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:03	津島ヒガシ水道断層と許可評価における水原東方沖断層群は、断層トレースが類似しており、同じ方向、
0:23:11	同じオオウチの方向を有する断層ではありますが、
0:23:15	団体の評価に差異が認められることから、企画課評価における、
0:23:20	イシハラ東郷断層の止めの評価
0:23:25	奥田につきましては、評価評価では、測線名、
0:23:29	断層認定し、測線名、
0:23:33	断層認定していないことから、支援本部との、
0:23:38	差異はございません。
0:23:39	また、当該断層付近において、
0:23:43	日本海地震
0:23:44	プロジェクトによる本部段差記録が既許可以降公表されておりますので、この
0:23:50	あわせてご説明をいたします。
0:23:52	48 ページをお願いします。こちら既許可評価の内容を示しております。
0:23:58	評価評価では、地質調査所等の滝川による主断層記録を確認した結果、
0:24:04	地質調査所の測線GSナンバー4 で確認される泉原東郷木断層群は、
0:24:10	実装差損測線、
0:24:12	ビジネスランド 115。
0:24:14	において、当該断層の延長部に変形が認められないことから、これをとめの測線としております。さらに、その南側にある、
0:24:24	地質調査所の測線No.3 や、海上保安庁の測線No.5 の3 においても、断層は認められ、
0:24:32	評価をしてございます。
0:24:35	49 ページをお願いします。
0:24:37	次に、少し、
0:24:39	評価以降に、
0:24:41	実施されている調査の、
0:24:44	評価評価への影響について示しておりますが、
0:24:47	当該プロジェクトが、
0:24:50	調査した測線、YK測線上で、断層認定した位置は、
0:24:54	当社が断層認定主体とほぼ同じであることから、当該知見を踏まえても、イハラ峠断層群の断層の端部を含め、事業化評価への影響はございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:07	50 ページをお願いします。
0:25:10	こちらには、
0:25:12	地震本部及び許可評価の内容、
0:25:14	既許可評価への影響についてまとめております。
0:25:18	前回ヒアリングでは、既許可評価における活断層評価を見直す必要性はない。
0:25:24	との説明をしてございましたが、
0:25:26	当該会議では、当社独自の音波探査記録がなく、調査制度に大きな差異がないことから、
0:25:33	地震本部の評価を踏まえ
0:25:36	た評価。
0:25:37	評価を見直すことといたします。
0:25:39	見直し後の評価につきましては、
0:25:42	調査書の測線、
0:25:44	ばあさんの南側に、
0:25:46	南側に
0:25:47	海上保安庁の測線、
0:25:49	において、断層が、
0:25:52	から、当該測線をイハラ等で断層群の南東のところ
0:25:56	で断層長さを 120 は
0:26:00	オカをいたし、
0:26:02	51 ページをお願いします。ここから、
0:26:06	第 1 ゴトウ田井断層、
0:26:10	52、
0:26:10	お願いし、
0:26:12	こちらには、地震本部に、
0:26:14	による評価と評価評価の概要を示しております。断層の認定範囲に差異が認められるため、
0:26:21	外れの評価内容を整理し、評価評価への影響について確認しております。
0:26:27	53 ページをお願いします。
0:26:31	こちら、地震本部の評価の概要になります。
0:26:34	あとは、スペース、
0:26:37	54 ページをお願いします。
0:26:39	こちらは前回ヒアリングでも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:42	お示しておりますので、詳細は割愛しますが、地震本部では、参照した地形の違いを評価できないことから、
0:26:50	村全体を一連の断層体として評価しており、
0:26:53	その断層トレースは断層情報総合評価プロジェクトによる断層トレースに最も類似しております。また、日本海地震津波調査プロジェクトでは、
0:27:03	評価のナカ通りは正方形断層群、フジイW4、
0:27:07	奥田において、
0:27:08	評価以降に調査を
0:27:10	が実施されており、
0:27:12	55 ページをお願いします。
0:27:15	こちら前回ヒアリングでお示しておりますので、詳細は割愛しますが、地震本部の断層トレースと最も類似している。
0:27:23	断層情報総合評価プロジェクトによる断層トレース
0:27:27	石油公団の音波探査記録をもとに断層に達した上で、測線間隔が粗いこと。
0:27:34	買い手付からは、
0:27:36	推定をされます。
0:27:38	一方、当社の評価につきましては、後程高率しますが、当社では、富士急行檀の音波探査記録に加え、
0:27:45	当社が独自に取得した音波探査記録をもとに、断層の認定及びその連続性を検討してございます。
0:27:53	56 ページをお願いします。
0:27:56	こちらは今回追加したページになりますが、
0:27:59	総合評価プロジェクトの報告書の抜粋及び海底地形との重ね合わせを示しております。
0:28:05	このデータからすると、推定すると、
0:28:07	当該プロジェクトでは、
0:28:09	元に、北東南西方向にある事項を踏まえ、その線に沿って、断層の連続性を、
0:28:16	検討したものというふうに、
0:28:18	おります。
0:28:20	57 ページをお願いします。
0:28:23	こっから許可評価における評価内容についてご説明をいたします。
0:28:28	駅コウノ評価における仲通りシマ西方沖断層群のうち、フジイWの 124 が第 1 ゴトウ断層体と断層トレースが類似しており、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:39	同じ地方方向を有する断層ではありますが、その認定範囲に差異が認められます。
0:28:46	地震本部が採用したプロジェクトでは、海底地形に基づき、その連続性を評価している一方、既許可評価では、
0:28:53	当社調査を含む、
0:28:54	複数の音波探査記録により評価していることから、小中西、
0:28:59	から、
0:29:00	上載率、
0:29:02	当社が収集した音波探査記録を用いて、次ページ以降にてご説明をいたします。
0:29:07	また、日本海地震津波調査プロジェクトによる音波探査記録の
0:29:14	②につきましてもあわせてご説明をいたします。
0:29:17	58 ページをお願いします。
0:29:21	まず第 1 ゴトウ田井断層体北部区間の南東についてです。
0:29:25	地震本部の
0:29:27	方同一
0:29:30	としては、
0:29:34	で、B4 の酸素以上いわ変形構造が認めら
0:29:41	の延長先の防砂測線ランプ
0:29:44	今、当該断層が認められないことから、これを友野測線としており
0:29:49	また、ホームが断層認定した。
0:29:54	諏訪こちらに大変形は、
0:29:56	あります。
0:29:59	59 ページ
0:30:01	次に、
0:30:02	10 ヶ月。
0:30:03	飯塚事務官。
0:30:05	当社測線No.19。
0:30:07	さらに、
0:30:08	南側の当社側線、No.109
0:30:12	においても、フジイ 2 断層、FGW2 断層の延長部及び地震本部が断層認定した位置に
0:30:20	変形は認められません。
0:30:23	60 ページをお願いします。
0:30:28	踏査測線、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:30	断層が確認。
0:30:31	その断層の両側の地層は断層で、
0:30:35	警察、
0:30:36	そこまで及びヒガシ大津の範囲が
0:30:42	におきましても、ナンバー23
0:30:44	された断層と同じ形態を占め
0:30:47	止められることから、
0:30:49	報告となる。
0:30:50	層厚の活断層、
0:30:52	ビジョンとして認定をしており、
0:30:55	61 ページをお願いします。
0:30:58	まずSGW4 断層の北端についてですが、当社測線No.2
0:31:07	測線No.23、22 で見られた。
0:31:11	変位変形が認められ、
0:31:13	これを止めの測線として、
0:31:16	また、整備期間に対応する測線No.1。
0:31:20	北川の測線No.2、
0:31:23	BW4 断層の延長部に変位変形は、
0:31:26	見られません。
0:31:28	62
0:31:31	次に、フジW4 断層の南端に
0:31:34	踏査測線、
0:31:36	24 における当該断層延長部に変形が認められ、
0:31:40	から、これ
0:31:41	測線、
0:31:43	地震本部が断層に、
0:31:46	はい。
0:31:49	63
0:31:52	こちらには、日本海地震津波調査プロジェクトが実施した調査による影響を示しております
0:31:59	当該プロジェクトでは、フジW4 断層の北端の止めの根拠としている当社測線、
0:32:06	において、
0:32:08	10 日以降に調査を実施しており、
0:32:11	当該プロジェクトでは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:15	評価評価にて評価した、フジイW4 断層の
0:32:19	ウタエンドウ分に、断層を認定し、
0:32:22	おりませんので、
0:32:23	当該プロジェクトの知見を踏まえ、
0:32:25	当社測線、
0:32:27	一応、止めの根拠とする。
0:32:30	他に影響はございません。
0:32:32	なお、当該プロジェクトのYK1 測線及び許可評価のNo.21 測線において
	は、それぞれほぼ同じ位置に、断層を、
0:32:42	おりますが、既許可評価では、当社測線のNo.23、No.21 で見られたよう
	な、
0:32:49	フジイW4 断層の示す、
0:32:51	形態ではないこと、また、フジイWA4 断層の上席ではないこと。
0:32:57	フジイW4 断層とは別の断層と評価をしております。
0:33:01	64 ページをお願いします。こちらに強化評価のまとめを記載しております
	す。内容としては、これまでの説明の要約であり、前回ヒアリングでのご
	説明と同じ趣旨の記載をしておりますが、
0:33:14	地震本部による中部区間及び南部金田
0:33:18	商会について
0:33:20	が、それぞれの区間で、
0:33:23	当社測線では断層があり、
0:33:26	ことを今回、
0:33:29	65
0:33:30	お願い。
0:33:33	こちらにこれまで整理し、
0:33:34	支援本部とか評価の内容を踏まえた影響。
0:33:38	まとめており、
0:33:40	地震本部との評価の際につきましては、断層の認定基準年代ではなく、
	評価方法及び使用しか、
0:33:48	圧力の違いによるものと考えており、
0:33:52	オカでは、他機関及び当社独自の音波探査記録をもとに、測線間隔を
0:33:58	食べる。
0:33:59	それを評価している。
0:34:02	断層評価については、
0:34:04	当社独自の記録をもとに確認していること、また、新フォームがね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:10	変形がないことを確認できていることから、
0:34:15	から見直しは不要というふうに判断をしてください。
0:34:19	66 ページをお願いし、
0:34:22	こちらは今回、
0:34:24	なりますが、活断層表
0:34:26	まとめを記載しており
0:34:27	詳細な確認が必要
0:34:29	相当
0:34:30	イシタ、三つの断層に、
0:34:33	他への影響確認を行い、
0:34:37	まずオノシバ金海断層体につきましては、既許可評価では、地震本部 が引用した知見及びデータに加え、当社独自のパターン先 6、
0:34:47	を用いて、操作な検討を実施。
0:34:50	断層トレース断層の区分、
0:34:54	さらに 5 断層たいと。
0:34:57	評価を見直す必要はない。
0:34:59	してございます。
0:35:01	次に、津島比嘉水道断層につきましては、
0:35:04	地震本部との評価に、調査制度に大きな差がないことから、地震本部 の評価を踏まえ、
0:35:10	評価評価における水原東方沖断層群の断層長さを約 28 キロとして見 直すことといたし
0:35:18	最後に、第 1 号棟断層体については、結局評価では、地震本部の評価 手法とは異なり、
0:35:25	当社独自の音波探査記録等に基づき、測線間隔を、
0:35:30	密にした上で、断層部その連続性を評価していること。
0:35:36	ホームと評価差異があった箇所については、当社独自の音波探査記録 をもとに変位変形がないことを確認していることから、
0:35:44	評価を見直す必要はない。
0:35:47	してござい。
0:35:49	以上を踏まえまして、今回評価を見直しましたイハラと大木断層群を対 象として、
0:35:55	基準地震動及び基準津波への影響評価を実施しておりますので、この 後ご説明をいたします。
0:36:02	68 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:06	ここから基準地震動、
0:36:08	への影響についてご説明いたし、
0:36:12	69 ページをお願いします。
0:36:15	まず、基準地震動への影響評価です。
0:36:18	エンドウへの影響評価で、
0:36:19	要は、地震本部の知見を踏まえ
0:36:22	活断層評価を見直した水原東方沖断層群を対象として、
0:36:27	許可時の内陸地殻内地震の評価フローに基づき実施をしております。
0:36:31	70 ページをお願いします。
0:36:34	水原東方沖断層群による地震はM Δ による検討の結果、敷地における揺れが、
0:36:41	震度 5 弱。
0:36:42	程度以上とは推定されないことから、敷地に与える影響が大きい地震ではないというふうと考えられ
0:36:49	従いまして、
0:36:52	当該断層による地震は、コウノ、
0:36:55	同様地震の選定及び詳細評価不要であり、
0:36:59	における支援の評価を見直す必要性がない
0:37:01	から、基準地震動への影響はない
0:37:04	と評価をしております。
0:37:06	まず 1 ページをお願いします。次に基準津波への影響評価です。
0:37:11	基準津波への影響評価については、既許可時のカツラを、海域活断層による地殻内地震の津波評価フローに基づき実施をしております。72 ページをお願いし、
0:37:25	当該断層を対象とした簡易予測式の結果、推定津波高は 1.0 メートル未満で、
0:37:31	影響が大きいと考えられ
0:37:37	オカをしており、
0:37:39	74 ページをお願いし、
0:37:42	こっから、確率論的地震津波ハザード評価への影響について、
0:37:51	まず、確率論的地震ハザード評価への影響
0:37:56	評価における、
0:37:57	理論的地震ハザード評価で、
0:38:06	決定論評価の、
0:38:08	地殻内地震を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:11	モリ、
0:38:12	イシハラ東方沖断層群につきましては、その他の活断層として考慮をしております。
0:38:17	また、勝野、この地震によるハザード曲線はポアソン仮定と。
0:38:22	地震の発生頻度及び最大加速度を与えて評価をしてください
0:38:27	なお答えの通り、発生頻度は、対象とする断層の長さ、最大加速度は、
0:38:32	断層長さに基づく地震の規模と敷地からの距離に関係をしております。
0:38:38	76 ページをお願いします。
0:38:41	今回評価を見直す。
0:38:44	イハラ沖東方沖断層群につきましては、見直し前後で、断層長さ及び敷地からの距離は概ね同等であり、地震本部で示された、
0:38:54	整備区域における活断層ナカイ活断層の活動度は、
0:38:59	基本評価における活動度と概ね同等であることを確認しております。また、許可の特定し、
0:39:07	稼働の曲線。
0:39:12	特定震源、
0:39:14	与えない。
0:39:20	その他の、
0:39:23	活断層評価を見直す必要はないと。
0:39:29	整備区域の海域活断層の活動度は、結局は評価における活動度と概ね同等であることから、
0:39:36	地震ハザード評価への影響はない
0:39:39	評価をしてございます。
0:39:41	77 ページをお願いします。次に、確率論的津波ハザード評価への影響
0:39:49	確率論的
0:39:51	ドアだけ。
0:39:57	津波
0:40:06	イハラと大木断層群については、発電所の影響が大きいと考えられる。
0:40:13	活断層には、
0:40:23	進藤様。
0:40:25	概ね同等で、
0:40:33	8 ページには、参考と。
0:40:36	今後における、
0:40:46	ページをお願いします。
0:40:48	今回地震本部、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:50	称した。
0:40:52	梶の評価フローに従って、玄海原子力発電所は、
0:40:57	既許可評価への影響確認を実施。
0:40:59	いたしました。
0:41:00	まず、海域活断層評価への影響については、
0:41:04	地震本部が評価した海域活断層費、
0:41:07	に対し、断層長さの上着目し、比較検討を行った、詳細、
0:41:13	必要な断層として、3断層を抽出しております。
0:41:17	このうち、オノシバ金海断層体及び第1ゴトウ断層体につきましては、
0:41:22	評価評価では、地震本部が引用した試験及びデータに当社独自の音波探査記録等を加え、詳細な検討を実施していることから、結局評価を見直す必要はないと。
0:41:34	いうふうに判断をさせていただきます。
0:41:37	一方津島ヒガシ水道断層については、
0:41:40	調査制度に大きな差異がないことから、支援本部の評価を踏まえ
0:41:44	断層長さを、
0:41:46	128キロとして、水原東方沖断層群の評価を見直すことといたしました。
0:41:51	基準地震動、基準津波への影響評価については、
0:41:57	評価を見直したイハラを東方沖断層群を対象に、
0:42:01	許可時の評価フローに基づき、影響評価を実施した結果、敷地の影響が、
0:42:08	大きい地震及び、
0:42:11	地震に伴う津波波源では、
0:42:14	から、基準地震動基準、
0:42:16	言わない。
0:42:17	評価をしております、
0:42:19	次に、確率論的地震津波ハザード評価への
0:42:23	影響についても、
0:42:28	影響についてですが、まず、地震ハザード評価については、見直し前後で、
0:42:34	水原と大木断層群の断層長さ、敷地からの距離、活動度が概ね同等であり、
0:42:41	梶野特定
0:42:43	スギタ
0:42:44	とか、極めて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:47	さらに改革が、
0:42:51	カツラ、
0:42:53	シンボ、
0:42:55	活動とか、
0:42:57	評価における活動と概ね同等であることから、
0:43:03	確率論的地震ハザード評価への影響はないと判断をしており、
0:43:08	津波ハザード評価につきましても、
0:43:12	当該断層が、検討対象の
0:43:15	活断層に選定されないこと。
0:43:18	その数をどれ。
0:43:20	ほぼ、
0:43:22	今回の新本部における評価が、
0:43:25	概ね同等であることから、各
0:43:29	評価への影響は、
0:43:32	しており、
0:43:34	以上を踏まえ、今回地震本部が公表した長期評価を踏まえても、玄海 原子力発電所の基準地震動及び基準、
0:43:43	今日はない。
0:43:44	評価をして、
0:43:48	81 ページをお願いします。
0:43:55	ヒガシ、
0:43:56	及び、
0:43:56	ゴトウたい
0:43:57	状態を対象とした、基準地震動及び基準津波への、
0:44:02	変更としてお示しをしておりました。
0:44:05	しかし、今回、津島ヒガシ水道断層、許可評価でいうイハラ投光器断層 につきましても、活断層評価を見直すことといたしましたので、
0:44:15	その評価には、本資料の方で説明をさせていただきます。参考 1 としては、 オノシバ金海断層体と第 1 ゴトウ大断層体を対象とした
0:44:26	対象として、
0:44:27	基準地震動及び基準津波への、
0:44:33	82 ページをお願いします。
0:44:35	こちら、これまでのヒアリングでもお示し、
0:44:41	明確です。
0:44:42	参考とし、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:46	確認を行う
0:44:48	か評価が保守的な評価となっていることを定量的に確認したと。
0:44:55	83 ページをお願いします。
0:44:59	の影響確認。
0:45:01	14 ページをお願いします。
0:45:04	84 ページから 87。
0:45:07	影響確認結果について、
0:45:09	しております。
0:45:10	内容と、
0:45:11	では、津島ヒガシ井戸断層が検討対象から外れたことを除いて、
0:45:16	前回とヒアリングですので、
0:45:19	詳細な説明は割愛しますが、
0:45:22	評価における評価が保守的となっていることを確認してございます。
0:45:28	お願いします。
0:45:30	89 ページから、92 ページに基準津波への影響確認結果で、
0:45:36	しており、
0:45:37	こちらにもA系、進藤同様に、内容としては、対馬ヒガシ、
0:45:41	コガ、検討対象から外れたことを除いて、
0:45:45	同じですので、詳細は割愛しますが、
0:45:48	既許可における評価が、
0:45:50	確認してござい。
0:45:54	94 ページをお願いします。
0:45:57	今回参考 2 としまして、肥後断層タイト域北東部の断層群の連動に、
0:46:04	等に関する
0:46:07	後、
0:46:10	95 ページをお願いします。
0:46:13	地震本部では、前述の通り、肥後断層体と、
0:46:25	郷断層、
0:46:26	オオバ断層は、
0:46:28	口座の違いだと思う。
0:46:30	ただ、そうであるという。
0:46:35	断層体と黒野シバ
0:46:40	本資料の充実、ページで示す影響確認、影響確認フローでおき
0:46:46	そこには、街灯を置いた
0:46:49	一方で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:50	地震本部には、
0:46:52	評価対象。
0:46:53	海域に存在し、
0:46:55	後段総代と茂呂のシバ金、
0:47:00	尾野シマ金海断層、
0:47:02	結構断層体と建設しており、
0:47:05	状態である可能性を、
0:47:08	関係等から、今後の
0:47:11	東方機関及び北西沖
0:47:13	の断層体を構成す
0:47:15	可能性も、
0:47:18	ので、
0:47:19	議長が評価における肥後断層体と域北東部の断層群が、一連に活動 する場合を対象とし、
0:47:26	及び津波、
0:47:28	主査を実施しておりますので、
0:47:31	次ページ以降にてご説明を。
0:47:34	97 ページをお願いします。
0:47:36	まず進藤についてですが、
0:47:38	こちらには勝野氏
0:47:40	肥後城を抜粋しております
0:47:42	梶野町周期地震動の
0:47:44	確認において、
0:47:46	両断層が一連で活動する地震動の震源、
0:47:50	モデルを設定して、
0:47:53	行い、
0:47:55	影響がないことを説明しており、
0:47:57	9 章
0:47:58	お願いします。
0:48:00	梶野、両断層が一連で活動する地震動の検討では、それぞれ藤スペク トルに基づく地震動評価。
0:48:07	及び、経験的グリーン関数法による断層モデルを用いた地震動評価を 実施しており、基準地震動Ss1 を下回ることを確認してございます。
0:48:18	お願いします。
0:48:20	次に、津波、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:21	ここ断層タイト域北東部断層群が一連で活動する
0:48:29	をします。
0:48:31	ストーリー、最大
0:48:33	は1ヤマダ。
0:48:36	ミシマ弾性沖断層群と宇久島北西沖断層群の
0:48:40	連動、
0:48:41	ミナミ水の、
0:48:43	変動量の範囲内であることを確認。
0:48:46	以上より、
0:48:47	評価における5断層タイト域北東部の断層群が、
0:48:52	時代に活動する場合、
0:48:53	北地震及び
0:48:55	津波の試算の結果、許可評価が保守的な評価であることを確認しております。
0:49:01	長くなりましたが説明は以上となります。
0:49:34	最初のところ、
0:49:37	違いが
0:49:42	しかし、
0:49:43	ますけど、そこは、
0:49:45	してですね。
0:49:51	フロー上の流れも特には、
0:49:55	躰を、
0:49:56	どこで落とすか、ここで判断する。
0:50:02	井
0:50:04	きます。
0:50:08	当初、こつちが言った、1078のところなんですけど、
0:50:18	18かな。
0:50:24	小中、強化警護断層等ですねこれ。植野浦島が丸さんがついていて5断層体のところが、当該断層は、
0:50:34	2007で確かに今回、
0:50:36	イデは、もともと、
0:50:38	リアルだ。
0:50:39	荒田
0:50:50	オダ村社
0:50:55	東部の断層と御社でいうところの検査、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:10	本社
0:51:11	それを、
0:51:29	クドウ 5 断層、
0:51:45	はい。研修電力の徳永です。先ほど鈴木さんから推すご指摘がありました通り実際に京王の青野シマ金海断層体のはさ、説明をする際に、
0:51:57	どうしても弊社の評価としては、小沼金海断層体の一部を警護断層体として認定してございますんで、実際に地震本部で越後断層体をどういふ
0:52:10	評価をしているかっていう話まで含めて整理をし、
0:52:13	方がいいだろうということで詳細な評価のところには警護断層の話も、しっかりと記載をした上で、説明展開をしていると、いうことを、でございます。
0:52:24	この
0:52:26	実際に地震本部のこの今回の
0:52:30	12 だけを切り出してみたときに、海と陸は今回住み分けますというふう
0:52:39	に書いたところそこを正確に
0:52:45	18 ページで落としたというものだけでございますので、
0:52:53	そうですね、ここは正確に落としたというのが事実と、というような位置付けでございます。以上。
0:52:58	回答。
0:53:00	と思いますが、以上でございます。
0:53:01	ちょっと、
0:53:08	すみません
0:53:17	御社の御社の評価していた警護断層体については今回改めてチェックが必要で、
0:53:25	長期評価偽地震本部 2022 が行っている規模搬送体は、今回改めてチェックはしてませんってそういう
0:53:27	どっちが評価してるけど搬送。
0:53:27	言うけ 5 断層だ。
0:53:28	では、
0:53:44	そう
0:53:50	なの警護断層。
0:53:52	③で、19、
	対馬
	比嘉市水道、これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:56	断層認定の根拠データ文献。
0:54:02	評価 1 個何か新しく地域
0:54:08	評価、評価ない。
0:54:14	そう。
0:54:17	会社。
0:54:22	卸、
0:54:25	岩相た
0:54:33	次のところでいく等、
0:54:37	大きな断層認定、この、
0:54:43	発送で断層トレース
0:54:47	断層を認定してる範囲は、
0:54:52	すごい
0:54:54	トレースとかあと断層の区分どこで分けするか。
0:54:58	そこに違いがあるということ。
0:55:02	等、
0:55:05	この小黑シマ金海断層体の東方
0:55:10	次のページでいくと、
0:55:12	北西沖区間約 36 キロ。
0:55:16	ここについては特に、
0:55:19	違わないというか、御社しいて言えば、北西沖区間、
0:55:25	東方沖区間のおよそ多分半分ぐらいを、壱岐オクとホンダ断層、
0:55:33	評価だと。
0:55:36	ここで分けをしてるわけですよ北西沖と。
0:55:39	ただ御社は、そういう分け
0:55:55	を引いて、
0:55:59	東邦機
0:56:00	18
0:56:01	ヒガシ側の半分ぐらい
0:56:18	そこ
0:56:20	後ろまで見ていたり、どこどこ
0:56:23	だんだんページをめくりながら 4
0:56:26	長期表。
0:56:30	シンボ 2020、
0:56:32	根来シマ金海断層体っていうふうに、バットを一本ぴよっといくと。
0:56:39	がわからない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:41	22 ページのところって何かあえて北西沖区間とか東方期間とかっていうところも含めて書かれてるの。
0:56:49	比嘉。
0:57:07	黒線
0:57:27	本今回の 2022 の評価文にある内容をなるべく
0:57:33	正確に落とそうということ。
0:57:37	内容をこのオノシマ金断層北西沖区間等々を機関に評価しましたというふうに記載があるものを落としたというものでございます。
0:57:48	実際に評価の差異があるっていうところは先ほど鈴木さんからもお話がありましたけども 27 ページに大きく①②③と、A断層と須藤断層体の区分、あと警護断層体との間、
0:58:02	いうところの、大きくこの三つの違いがあるというふうに我々は考えておりました、この 20、先ほどありました 22 の北西沖区間とカトウ放棄区間 Aに違いが、を分けているとか、あと断層トレース
0:58:17	ただそ
0:58:28	地震本部の記載を落としているだけというものでございます。以上でございます。
0:58:38	者
0:59:12	本社
0:59:20	トレースと、
0:59:22	そう。
0:59:24	そう。
0:59:27	しているのがここ。
0:59:29	オノシマ。
0:59:30	早退。
0:59:32	東部断層と、
0:59:33	御社が区分け
0:59:35	希望断層と、
0:59:37	目 5。
0:59:40	5 断層体との、
0:59:42	②とほぼ、その関係はしてくるんですけど、
0:59:46	御社が地震本部の 2007 と。
0:59:49	差分とか違って、ここを警護断層だと言ってた部分の確定性と、
0:59:54	ところが、
1:00:01	ちょっと待ってください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:03	25 ページかなこれ。
1:00:06	ここも改めての確認なん。
1:00:12	もともと、
1:00:13	比嘉久郷断層体の朝刊に
1:00:17	時にワーもともとがこれある程度警護断層体って
1:00:26	ところそこで
1:00:28	その他と
1:00:31	一応断層は、
1:00:34	現在は、
1:00:53	長さが 14。
1:00:56	ここは長さ 14 キロって言ってるのは、これ
1:01:13	これは
1:01:17	当時はね。
1:01:24	層は、
1:01:25	本断層体に含まれ
1:01:30	これ
1:01:32	だけ 5 断層隊
1:01:43	ものですかねこの
1:02:12	そこで、当時はあまりその詳細評価をしませんよと言って、
1:02:23	右側では、14、長さ 14 キロであり、
1:02:27	てた部分ですかね。
1:02:28	これはノロシマ県、
1:02:36	右側の正しい
1:02:38	正しいいずれも短くと言っていたものは、
1:02:42	当時会長警護断層
1:02:47	クボ断層体
1:02:51	この差分で 5 段その前の差分として一応ホール
1:02:57	ここは
1:03:25	徳永です。
1:03:28	お話いただいた通り
1:03:30	どうも我々、
1:03:31	ございます。
1:03:36	そうすると、一応、地震本部 2007 と 2022 との間では、
1:03:42	特にない。
1:03:46	が大変なのかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:48	7と2020でちょっと断層区間の取り方、
1:03:51	変わったと。
1:03:58	そうすると差分が消費税がどちら
1:04:21	九州電力の徳永で、
1:04:33	そうですね。
1:05:15	こと。
1:05:25	一応、
1:05:27	そうトレース
1:05:30	これ。
1:05:31	まず、地質調査上音波探査記録をもとに断層に、
1:05:36	しているとか、
1:05:40	一連の前のページの①の、
1:05:50	ところだけをもとに、
1:05:57	アキモトに、
1:06:10	休暇評価ではこうだった
1:06:16	次の小断層区分のところってな。
1:06:20	そう区分、
1:06:24	いや、
1:06:27	断層を認定し、
1:06:31	断層トレース断層区分って言って、
1:06:35	ここまで御社の方だと。
1:06:38	檀ソウノ鳥井
1:06:40	断層区分については、
1:06:48	何か0
1:06:57	はい。
1:07:07	高評価
1:07:36	ここで、
1:07:59	特性、
1:08:11	ちょっと
1:08:13	形
1:08:27	の調査
1:08:58	その
1:08:59	外に
1:09:00	ようなことであるんですけども、
1:09:23	まずアカサカトレースの前に、断層の認定のところから

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:28	これ
1:09:30	断層認定士っていうのは前のページみたいなところで言うと、この
1:09:35	赤い
1:09:38	この案を、地震本部 2002 で最後は大瀬
1:09:42	行きますよね。
1:09:44	断層に提示って言うてるのはトレースー前のここの細かい、
1:09:50	ここには断層がある、ここにワダ。
1:09:53	というか線というか、
1:09:55	細かい
1:09:58	ところでは、一応より密な測線かと。
1:10:01	その差は
1:10:04	その断層の認定で何か差異があるかというところはない。
1:10:13	ここで、長期評価ではここで断層を認定してけど、自社ではここでは断層に、
1:10:20	仮称。
1:10:22	この差って何か、そこはない。
1:10:26	そういうところまで、
1:10:27	そこで最後、
1:10:33	わかんない。
1:10:55	ええ。
1:10:56	の方は、27 ページで示す青線になりますが、比較的
1:11:01	直線的な線で断層を、
1:11:04	評価され、
1:11:06	は、
1:11:08	評価になりますが、
1:11:11	言うと、
1:11:12	北東部
1:11:26	記録だけではなくて、自社の測線なんかを用いて、
1:11:29	より細かく断層の市田。
1:11:33	把握できているので、こういう評価ができているんだというふうに我々としては認識をしております。
1:11:44	はい。
1:11:45	そこを含め、
1:11:54	アノ推本型
1:11:56	はいろんなデータなりで御社の評価も含め、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:00	母数には入っているんだけど、
1:12:03	事業候補者としては、
1:12:09	ここでは、
1:12:24	は、
1:12:25	前回のヒアリングか、
1:12:31	なんかだったら 60 名。
1:12:34	コウノ資料というふうに、引用文献に書いてます。
1:12:37	そこに出されて、
1:12:39	机上配付資料が、この概要に書いてます通り対馬周辺から九州西方沖の海域っていうふうに書いてあるんですけどこれが、比較、九州津島の西方沖の、
1:12:49	図面集だったというふうに確か理解をさせていただきます。
1:14:03	名倉さんからお話があった分につきましては、校舎、2013
1:14:12	というものはござい
1:14:14	ます。
1:14:22	2013 年の本社のやつっていうのは、
1:14:25	何回のやつ。
1:14:29	13 回でいいですか。
1:14:33	6 年 3 回、先ほどおっしゃったように
1:14:36	区としては机上資料としては幾つシマであるけども、本編の中にはちゃんとこの御社が出して、
1:14:48	公表
1:14:49	ですよ。
1:14:51	でもそれオダ、それはどういう、
1:14:54	評価をして、
1:14:59	文字面を
1:15:01	いうのも地震本部の引用文献が、机上配付資料でどこまで指定が書かれていたというものでそれを持ってきている。
1:15:11	正確に言いますと、九州電力会社 2013Aと、
1:15:16	転んで
1:15:18	見解
1:15:23	か。
1:15:24	記録集。
1:15:28	地震本部の 50 ページの引用文献、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:55	その長期評価の、割と冒頭の方である活断層の認定に用いたデータってところでは、
1:16:03	対馬周辺から
1:16:06	もう沖の海域で九州電力の活断層調査のために、マニュアルの方にある音波探査を実施。
1:16:21	IOC
1:16:23	なんか収集して、
1:16:24	いるかという、そういう関係性ではないように、
1:16:31	確かに、
1:17:27	一応だんだんなので、
1:17:30	長期評価をした限りでいうと、別に 2013 のある会合資料だけを、
1:17:36	成果を収集したわけ。
1:17:44	田植え
1:17:45	北呉
1:17:46	ただここ
1:17:59	かもしれん。
1:18:00	ちょっとそこ。
1:18:01	結局は、
1:18:06	ディテール見て、
1:18:08	がたいんじゃないか
1:18:10	ただ
1:18:11	一応ここは、
1:18:42	ごめんなさいね。
1:18:45	その上ですよ。
1:18:47	断層の認定のときのデータがある。
1:18:51	認定した。
1:18:52	ソウノ 1、
1:18:53	整理を精度よく把握し、
1:18:57	トレースしている。
1:19:00	これ
1:19:03	は、
1:19:04	日本の
1:19:05	状況が 2020 年割と直線的に書いてるけど、我々、
1:19:13	そこだけ
1:19:16	断層区分は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:19	これは、
1:19:23	特に推本の方はこうやっているとも多分特性
1:19:28	はい。
1:19:29	とは思うんです。
1:19:31	あんまりどうやってるかわからないけど、我が社はこうやってました
1:19:51	ところわからんわけです。
1:19:57	はい。九州電力の徳永です。断層区分について野間スズキさんのご指摘の通りでございますけれども、ベースになっているのは、先ほどご説明しました 23、
1:20:08	24 ページに書いてあります、岡村ほか 2014 の断層トレースを基に、断層、一連の断層、今断層トレースを引いていて、
1:20:19	このこの土岐岡村さん、岡村さんの部分でコガ断層体だというふうには、確かに記載はないんですけども、このトレースを見ながら、地震本部は、一つの小野瀬金海断層体というふうには評価したとそこまでしか今わかっていないと。
1:20:33	いうふうに思っていますね片や我々はどうしたかといいますと、この 28 ページにあります三つのポチを踏まえまして、県域北東部の断層群と警固断層体を定義したというものでございます。
1:20:56	希望断層体との、
1:21:02	当時はマツダの 5 キロで
1:21:05	肥後断層体とベツツ。
1:21:10	今回、
1:21:13	はいないので、
1:21:14	この部分は変わらないだろう。
1:21:22	共感とかあまり。
1:21:35	評価では地震
1:21:42	これ
1:22:30	そうしていくと、
1:22:34	断層の方はバツテン
1:22:39	ターン層の、
1:22:42	ところですかね。
1:22:43	はい。
1:22:49	はい。
1:22:56	すいません。
1:22:59	運転指導に進んでいっちゃうので終わり。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:08	そうですね。はい。
1:23:18	あと 31 ページからのところで九州電力測線と解放測線とかで、
1:23:26	いろいろ引いてますけど、結局、このあたり
1:23:31	31 とかさ。
1:23:32	こういうところですよ。
1:23:38	けど細かいFkn幾つとか、細かい断層あるじゃないですか。
1:23:43	ああいうもの。
1:23:44	ここに、
1:23:56	そこで認定してどこで止めてましたか。
1:23:59	その御説明を繰り返されて
1:24:02	この辺はよろしいですか。
1:24:06	九州電力の徳永です。31 ページ 32 ページは先ほど、
1:24:10	関さんのお話。
1:24:12	どのような層が止まっているかとか、
1:24:14	ちょっと
1:24:15	31 ページ 32 ページの左下に囲みのテキストボックスが張られてあると思うんですけども、31 ページでいきますと、
1:24:25	衛藤北斗
1:24:28	東部の断層群については層厚がいい。
1:24:34	これらの断層評価で導き出していると。それと 32 ページにつきましては、
1:24:38	横ずれに特徴的なフラワーストラクチャーが見られるとか、こういった断層端部でスプレー状にこうだバラけ
1:25:09	伴断層、
1:25:11	AとB3 層になります。
1:25:20	きて、
1:25:23	色を塗られている。
1:25:25	ところが、
1:25:50	28 ページで、
1:25:52	今中家 5 断層の端部の説明みたいなのは、よく良くなにかスプレー状の構造がどうのこうのと。
1:26:01	東海ろうきんではどうのこうのって、
1:26:08	じゃあ、この
1:26:11	東部の断層群、
1:26:12	丹

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:14	のは、どの測線とどの測線を、
1:26:19	は、地震本部の方とは、
1:26:24	間違いが、
1:26:28	こういう測線があったから、
1:26:31	よりはっきり見えるんだと。
1:26:34	いうことは、今、
1:26:37	特に構成
1:26:43	の測線を見ていきオク逃亡。
1:26:47	止めたっていうことになってる。
1:27:00	研究者電力のムラカミです。
1:27:05	10、
1:27:07	4 ページ。
1:27:08	を見ていただくと、そこにウエキ北東部と敬語のそれぞれの評価のまとめを記載してますけれども、局鳥羽南端につきましては、点線
1:27:20	青い点線があるところの下、
1:27:27	北東南西方向の測線があると思いますけれども、
1:27:33	域北東部の断層群の檀丹
1:27:35	勝。
1:27:36	池戸断層と北西部の北端。
1:27:40	として評価をしている測線になります。
1:27:52	今回の資料には、掲載はしてございません。
1:28:00	そその測線っていうのはだから地震本部も使ってることになって、
1:28:07	9 でも使って、
1:28:10	だから、ここで言ってる。
1:28:13	地震本部より
1:28:15	使って
1:28:18	ソウノ構造だとか、そういうものを、
1:28:22	するようなことができる。
1:28:28	出るんだとか、そういう
1:28:30	ではない。
1:28:42	九州電力河上です。今、先ほど申しあげました測線については地質調査所のアノ測線になりますので、ものとしては、
1:28:54	日本と同じ。
1:28:55	測線になり
1:28:58	測線が多いところで、その端部

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:01	でも、より複数の測線でもその上下に、
1:29:04	当社の自社測線、
1:29:06	ですので、その前後も含めたところで我々、
1:29:10	できているというふうに
1:29:11	直してございます。
1:29:19	確認したと。
1:29:25	ちの測線だと、カー。
1:29:29	ですかね。
1:29:37	もっとこう長く、
1:29:42	当時持ってた。
1:30:20	そうです。
1:30:31	ちょっと、
1:30:32	考え方。
1:30:34	今何でこれ、長期評価するような
1:30:36	に対して、
1:30:39	これは
1:30:40	最終的な目的としては安全、
1:30:49	だから、
1:30:50	評価を詳細にやんなくちゃいけないし、データを追加しないといけないから、かなり
1:30:58	ちょっと一言で聞きますけど、
1:31:01	FARO島近海断層体全体
1:31:05	をたとえ、
1:31:07	よく東部の断層群、
1:31:11	から距離を
1:31:19	津波、
1:31:24	あともう1、
1:31:28	警固断層が御社として認定している。
1:31:33	衛藤。
1:31:33	要は壱岐北東部の断層群の、
1:31:37	南東延長上、
1:31:41	ところを推本はおる大島近海断層体の一部として、
1:31:46	それ、そうかそこから、
1:31:50	やっぱり、連動するか否か。
1:31:54	ところが結構大きな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:58	思うんですけど。
1:31:59	その場合は、後ろの方に参考でつけて、
1:32:12	アンテナからもう
1:32:14	いろんな形
1:32:34	九州電力の明石でございます。認識論点は今出村さんからお話があった通りで連動が論点となった
1:32:45	後段の方を参考としてつけておりますケースはおっしゃる通りこれ基本ケースで、
1:32:53	98
1:32:56	ご覧いただければわかります通りもう短周期側に、
1:33:00	では
1:33:02	そんなに大きなレベルにはなっておりませんがやはり、
1:33:07	ここで聴取
1:33:14	は
1:33:19	思います。
1:33:22	参ります。
1:33:23	大坂基準地震動を2引っかけたというふうに考えており
1:33:30	以上です。
1:33:36	あ、ごめんなさい
1:33:40	同様、
1:33:41	はい。
1:33:48	河本
1:34:07	のように、
1:34:15	3、4秒ぐらいで、
1:34:17	古謝大山
1:34:29	少し、
1:34:31	場合は、
1:34:32	これは何かエラー
1:35:26	考慮し、
1:35:29	そうすると、
1:36:17	角
1:38:49	厳しい。
1:39:02	というのも、
1:39:04	一番聞く不確かさとしては滑り、
1:39:51	瀬古断層のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:56	この部分による。
1:40:08	という話がありますのでもともとの基準地震動基準津波に対する、
1:40:51	この間、
1:41:01	一連の活断層で可能性をして、
1:41:34	そこは何で、
1:41:59	ことを伺い、
1:42:05	調査によって、
1:42:07	調査をすれば、これは一連の乾燥活断層ではない。
1:42:11	評価。
1:42:15	そこはね、
1:42:21	要は、
1:42:34	それ
1:42:35	そこで、すいません。
1:42:41	評価で
1:42:46	せるのかなと。
1:42:49	そうじゃない。
1:42:51	金戸。
1:43:00	をしておりますが、
1:43:02	既許可評価で負け5断層自体に区から繋がる警護断層というのが、
1:43:08	横ずれ断層の左横ずれの断層が、
1:43:12	実際に海の、母方付近からも出てくるところ我々電中研若い方の測線を見ましても、同じように横ずれの断層の特徴が見られると。それでは、断層、北西側に行くと断層、
1:43:29	端部だ、ぱらぱらとスプレー状になっていくということで、
1:43:33	5断層の後福岡県西方沖の余震分布、
1:43:37	分析ということで、5断層自体はここで止まるという、断層。
1:43:43	評価をして、今日の時もそういう評価をしてここで、
1:43:49	規模断層体と。
1:43:51	調整状とは異なりまして、断層層厚
1:43:55	火山性の活動によるものということで、こいつは別にウオーク起震断層をいうことで、
1:44:01	北東部の断層群と、
1:44:03	じゃあ、
1:44:06	ことから、
1:44:07	動かない

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:08	というのを、連続性の観点でも評価の時に説明したというところでそれを今回も変え
1:44:44	遠藤佐瀬。
1:44:46	そこそこの話を、活断層は、今多分地震
1:44:50	評価上の使いとして
1:44:52	かかっ
1:44:53	て、
1:44:55	その評価としてはここで切りますと。
1:44:58	表震度評価。
1:45:04	評価。
1:45:37	九州電力の徳永です。
1:45:41	地域のところの地震動とか津波で、
1:45:44	波源としてエンドウ、この扱いをそもそもどういう設定として、
1:45:49	前に置いた上で、
1:45:52	次の計算を流すというような、
1:45:54	骨格ということで、
1:45:56	いたしました。
1:46:02	ごめんなさいなので、これ振動評価。
1:46:05	ナカジョウ。
1:46:07	エンドウさせる。
1:46:14	需要はないのだけれども、
1:46:23	等
1:46:28	電力の徳永です
1:46:30	の位置付けとしてございます。
1:46:40	その心は、
1:46:42	先ほど活断層評価のときに説明があったような、
1:47:43	しかも、
1:47:46	第1ゴトウたい。
1:47:54	等、こちらは、一応、じゃあ、比較してるのはどこ。
1:47:59	877 ページとか、
1:48:04	比較はしてますけど、ちょっと
1:48:07	ゴトウたい。
1:48:08	そう。
1:48:13	そう。
1:48:22	通信は報告する。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:27	と、これは、
1:48:28	ゴトウ第
1:48:33	エンドウ。
1:48:43	ところで、
1:49:50	どっちと連動させるか
1:49:53	そういう考えで、
1:49:59	九州電力の徳永です。先ほど鈴木さんからご指摘のあった通り、
1:50:11	そうすると、
1:50:13	前回、
1:51:20	文科省のプロジェクトの方って、特に何か北部中
1:51:25	アメリカと、
1:51:29	電力の徳永で、
1:51:31	4ヶ所の
1:51:32	島では、
1:51:33	十分な分の区間分け等はございません。
1:51:37	ここはちょっと
1:51:38	ブランクで、
1:51:44	から、
1:51:55	戻るとそのプロジェ
1:52:29	ございま。
1:52:30	55 ページ
1:52:31	を見ていただければと思います。
1:52:34	中部区間が、当社の測線の
1:52:38	ナンバー21の間ぐらいというところなんですけども、この間に石油公団 だったアノン。
1:52:45	JAMSTECが、
1:54:36	申しますか、そうすると、もう少し
1:54:38	ここに地震動津波等、
1:54:41	ところ以外で戻って小牧
1:54:49	所。
1:55:12	のね。
1:55:20	青の方が、
1:55:22	地震本部の方が長いってなってます。
1:55:25	これは何でなんです。
1:55:29	すいません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:30	徳永です。右側の絵はですね下、活断層図。
1:55:37	断層がないと、測線のみ決めた測線までを、活断層評価上延ばすという ことで、ここでいきますと、
1:55:46	そのナンバー7まで伸ばした絵が右に落ちて、すみませんちょっとわか りづらいそうですね。だから、
1:55:52	評価はこうなんだって全然 50 ページでも僕よくわかんなくなったんだけ ど、評価はここまで伸ばしてんだっていうのをちょっと入れてもらったほ うがいい。はい、承知いたしました申し訳ございません。
1:56:08	規制庁の名倉です。関連して 50 ページ
1:56:11	確認したいのは、何
1:56:14	が違う。
1:56:16	これなんぼ本の、
1:56:23	47 ペー
1:56:29	青い線の方。
1:56:32	地震本部はどこで止め、
1:56:37	値必ずしも
1:56:40	人は一致してなくて、
1:56:41	ちょっとわかんなかった
1:56:45	見直し。
1:56:46	作戦を変更しましたと言ってるんだけど、
1:56:51	カドイ、
1:56:52	22 の、
1:56:54	南端の止めのところまで伸ばしてるわけでもないように見えるんですけ ど、これ
1:57:00	意味っていうのは、
1:57:12	徳永です 46。
1:57:14	我々が推定した地震本部の評価というものを記載しているんですけれ ども、
1:57:21	そのためにつきましては、CSナンバー3 までは、断層と評価をして、ナ ンバー2 ナンバー2 で止めているという評価をなされて
1:57:32	いるだろうということを記載してます。
1:57:36	片や、このCSNo. 3 っていうのは、弊社の場合でいきますとここは断層 と認定せずにちょっと北川
1:57:45	Cs-115 で止めていた
1:57:48	ということで、地震本部の評価を使って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:53	ということで、
1:57:56	断層と見るということは、我々もそれを同じように評価を改めましょうということこの南部
1:58:02	断層として見るんですけども、じゃあ、南側のためのままNo. 2とするのか、それは、弊社の中でまだ持っている、他のデータ等も踏まえ
1:58:17	てことで、
1:58:18	議論いたしまして、その手前、下側にあります海保測線のTsナンバー5-3の測線を、これ間違いなく止まってるよねというのを、48ページのちょっとページが飛んで申し訳ない
1:58:32	しまして、これを止めにしようということで
1:58:36	5-3に変えたというものでござい。
1:58:40	以上でございます。
1:58:44	ちょっと、
1:58:51	まず見直しとか、
1:59:01	一応、
1:59:03	その下のところで、
1:59:05	黒線
1:59:09	しました。
1:59:11	そういうことだ。
1:59:14	そこら辺
1:59:18	何か、
1:59:19	植野市だけ
2:00:24	末ですけども、
2:00:26	一つ、
2:00:29	経験したっちゃうか、
2:00:31	してきてるんですけども国の市の見解ではそう。
2:00:37	はい。
2:00:38	西山の大きいのですね。
2:00:40	これ
2:00:41	の資料、一番最初の頃の、
2:00:45	作りに
2:00:46	ところで、短い断層だから、スクリーンアウトしました。
2:00:55	御社は既許可で西山那須に含めてたわけですよ。
2:01:00	そういう書きぶりの方がいいんじゃないですか。
2:01:07	ような話になっちゃう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:11	はちょっと、
2:01:13	お願いします。
2:01:17	鵜沢です。西ヤマダ
2:01:19	評価
2:02:42	実行 10 ページの
2:02:46	直線を推本
2:02:48	てるし、
2:02:49	よろしい。
2:02:51	その判断がちょっと分かれる。
2:02:53	ことなんですよ。で、そこは保守的に、そこは、
2:02:58	判断が分かれるものはそういうものを採用しましょうかと、同じ測線、
2:03:04	ていう考えをここで、
2:03:07	他のところ、
2:03:08	数、今、整合。
2:03:12	しているんですけども、私全部を確認してるわけじゃないですけど
2:03:18	例えば、
2:03:19	紀北と。
2:03:23	ミナミ方向の延長だとか、
2:03:27	いや、大丈夫ですか。はい。
2:03:30	回収電力の徳永です。50 ページに
2:03:34	ですけども、
2:03:35	この津島に弊社でいきます伊豆原島沖断層につきましては、当社独自の音波探査記録がないということで丹端部の止め等も評価も含めまして、
2:03:46	調査精度に差がないということで、そこで差別化を、卸町なり、第 1 号等々図っているという認識でございます。以上でございます。
2:04:06	測線
2:04:06	位置データを
2:04:08	片や
2:04:10	でした。
2:04:12	ただ、
2:04:22	それを変わるっていうところ。
2:04:24	途中でも、
2:04:36	層序、
2:04:39	一緒なんだけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:49	イシカワ執行してもらって、
2:04:51	力の徳永で、
2:04:53	この
2:04:55	つきましては、層序の違いと認定の年代の違いというものではございませんで、弊社としてはここ、もう普通の堆積構造野瀬の堆積構造というふうに呼んでいたとどちらかというこの断層の北の止めは、
2:05:10	GSナンバー115で止まっているというふうに評価をして、南側の方には、堆積構造だというふうに評価をしていたと。
2:05:19	いうものでございますね。片や地震本部さんの方は、そこへ堆積構造と呼んでいるところを、一部その辺気変形のような形で呼んだんだろうということ、そこは判読者の中
2:05:31	におるものというところ。
2:05:33	そこを入れ込んだということ。
2:05:42	ちょっとしつこいようですけどさっきアノさん
2:05:45	池野区東部の断層群の止め、
2:05:50	地調の測線でしたんですよっていう話。
2:05:55	の方は、
2:05:56	医長の市長の測線を推本の方は、断層あるって評価して、
2:06:02	9電の方は断層内って評価
2:06:04	なんか、
2:06:07	2個数えられる。
2:06:08	じゃないのかなって思って、
2:06:10	なったというところなんですけど。
2:06:30	そもそもこの断層群としての塊。
2:06:33	をそれぞれ両者を評価をしていくには、
2:06:37	弊社の音波探査記録、もしくは、電中研解放の測線をもとに、断層の特徴をしっかりと
2:06:49	いうもので、さらにその前後でも先ほどちょっと村上も言いましたけれども、手前のさらに南側にある自社測線等でもその先のれん連続性等もないということで、
2:07:02	この3側線1本だけで、
2:07:05	早退
2:07:15	者と、
2:08:22	はい。
2:08:37	あとねちょっと時間もあれをってしまったんですけど、ちょっと今、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:44	どこが、
2:08:48	ちょっとそういう話がね、実はこれ一番後ろまで読んでいって初めて、
2:08:52	なんていうかその施設で、
2:08:55	評価へのインパクトの度合いとか、
2:09:02	小規模
2:09:04	何が新しい。
2:09:07	それによ
2:09:08	その影響度合いってのはどういうものなのか。
2:09:17	等に少し、
2:09:25	どこに、
2:09:31	となる評価を維持するのかもしれないのかと。
2:09:39	ことがある知見なのかとか、
2:10:22	多分、
2:10:24	所奈須。
2:10:27	よろしければ
2:10:31	ちょっと仙台の方は、センターの状況下の方はどうします。
2:10:37	冒頭にきちんと、端的にですね概要を、
2:10:44	助産点あって、
2:10:46	一つ、算定とか重みづけはいっぱいあるんですけど、その領域が変わったというは、
2:10:51	規模は、
2:10:52	あとは細かい
2:10:59	森林機能整備は、
2:11:36	御社のもととSs-Nの検討だったり、
2:11:51	まさしく、
2:11:57	何が新しい
2:12:07	許可の評価なり許可、
2:12:09	イワモト
2:12:28	をちょっと、
2:12:37	はい、すいません。
2:12:40	あとちょっとどうしてもということ。
2:12:43	しておく必要がある。
2:12:57	ちょっと少し気足らずだ。
2:12:59	とか、
2:13:02	ふわふわとし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。